

現地調査の報告について

- ◇ 資料 1－1 滋賀県 守山市立守山中学校
- ◇ 資料 1－2 京都府 京都市立朱雀第四小学校
- ◇ 資料 1－3 奈良県 生駒市立鹿ノ台中学校
- ◇ 資料 1－4 福岡県 北九州市立曾根東小学校
- ◇ 資料 1－5 長崎県 長崎市立小櫛小学校

滋賀県 守山市立守山中学校

●調査概要

- 調査日 平成31年3月4日（月）
- 調査者 （部会委員）長澤部会長、小泉委員、小澤委員、鈴木（賢）委員、
五島特別協力者、森特別協力者
（事務局）扇谷、島岡

○基礎情報

- 施設概要
RC・S-2、8,778㎡、建築年 H28年度（エコスクール整備年 H28年度）
- 学校概要
児童数 617人、学級数 21学級
- エコスクール事業タイプ
木材利用・緑化・ピオトープ、再生可能エネルギー利用、施設の断熱化、自然エネルギー利用等

○主な取組

【施設面（かんがえる・つくる）】

- 学識経験者を含む検討チームを設置し、ワークショップを開催。
- 電気配線、使用エネルギー及び温度など校舎の情報を見える化。
- ヒート・クールドレンチの設置（地熱利用）等により省エネルギー化。

【運営面（つかう・つなぐ）】

- 施設の特徴や使い方に関するDVDを作成。新入生に視聴させ、意識を向上。

【教育面（まなぶ）】

- 地球温暖化防止推進センターによる出前授業を実施。
- 生徒が小学校を訪問し、エコスクールとして特徴等を説明。

○主な効果

教育目標として設定している「体験」、「連携」、「発信」を通じて、環境教育の取組が途絶えないよう環境意識の高い生徒を育成している。



波状屋根



校舎内部

京都府 京都市立朱雀第四小学校

●調査概要

- 調査日 平成31年3月13日(水)
- 調査者 (部会委員) 長澤部会長、伊藤委員、小泉委員、鈴木(賢)委員、
五島特別協力者
(事務局) 松下、島岡、桜井

○基礎情報

- 施設概要
RC-2及びRC-3、4,351㎡、建築年 S31~44年(エコスクール整備年 H23年)
- 学校概要
児童数 324人、学級数 13学級
- エコスクール事業タイプ
木材利用・緑化・ビオトープ等、再生可能エネルギー利用、省エネ・再生利用設備、施設の断熱化

○主な取組

【施設面(かんがえる・つくる)】

- 環境建築研究会を設置し、地域の技術者、教職員及び地域住民により、エコ改修に関する講義やワークショップを実施。改修校舎の教材としての活用方法も検討し、また、中庭の継続的な維持管理を見据えたデザインを検討した。
- ワークショップを開催し、児童がガラス玉を埋め込むなどエコ改修工事に参画。
- 工事期間中に現場見学会を開催し、児童が施工現場を見学するとともに、施工者と交流。

【教育(まなぶ)】

- 環境教育の教材として「あかしや環境プログラム」を策定。定期的に教職員及び設計者で同プログラムを見直し、改善を図っている。
- 毎年度、設計者から教職員及び児童に対し、エコ改修の内容について講演。
- 児童が、地域住民への発表(エコツアー)や自分たちにできるエコについて提言する「エコフォーラム」を開催。

○主な効果

エコ改修で整備した施設・設備を生かしながら、地域や保護者等の協力の下、「あかしや環境教育プログラム」を年々充実させている(H30地球温暖化防止活動環境大臣賞受賞)。



地域の皆さんとともに



風の塔

奈良県 生駒市立鹿ノ台中学校

●調査概要

- 調査日 平成31年3月5日(火)
- 調査者 (部会委員) 長澤部会長、小澤委員、長濱委員、五島特別協力者、森特別協力者
(事務局) 扇谷、島岡

○基礎情報

- 施設概要
RC-3、5,677㎡、建築年 S56年(エコスクール整備年 H26・27年)
- 学校概要
児童数 269人、学級数 8学級
- エコスクール事業タイプ
再生可能エネルギー利用、省エネ・再利用設備、施設の断熱化 等

○主な取組

【施設面(かんがえる・つくる)】

- 生徒、学識経験者及び地域住民等によるワークショップを開催。
- スーパーエコスクールとして整備。断熱防水や太陽光発電設備によりゼロエネルギー化を目指す。
- 公立学校の中でもトップクラスの発電量の太陽光発電設備を設置。
- 外壁や間仕切り壁の断熱化など、断熱性能を向上させ、冬季のガス代を大幅に削減。

【運営面(つかう・つなぐ)】

- 各委員会のエコ活動をエコ鹿委員会が取りまとめることにより、日常的に全校生徒が自主的にエコ活動を継続する体制ができている。

【教育面(まなぶ)】

- 生徒会や各種委員会の取組が評価され、グリーンフラッグを2回取得。
- エコルームに、生徒発案の足踏み発電機を設置し、環境教育に活用。

○主な効果

「環境宣言」を作成し、生徒が主体的に環境活動に取り組み、グリーンフラッグの取得など外部機関の評価を得ている。



エコ鹿委員会での協議の様子



生徒考案の足踏み発電機

福岡県 北九州市立曽根東小学校

●調査概要

- 調査日 平成31年2月21日（木）
- 調査者 （部会委員）長澤部会長、田中委員、五島特別協力者
（事務局）松下、島岡

○基礎情報

- 施設概要
RC-4、4,830㎡、建築年 S52年（エコスクール整備年 H20年）
- 学校概要
児童数 478人、学級数 17学級
- エコスクール事業タイプ
木材利用・緑化・ビオトープ、再生可能エネルギー利用、施設の断熱化、自然エネルギー利用等

○主な取組

【施設面（かんがえる・つくる）】

- 児童とともにビオトープを改修。

【運営面（つかう・つなぐ）】

- 外部の専門家によるビオトープの維持管理に関する助言。

【教育面（まなぶ）】

- 保護者や地域住民を対象とした地球環境フォーラムにおいて、児童が校内を案内し、換気スリットや可動式ルーバー等のエコ設備について説明。（エコ改修ツアー）
- 外部の専門家によるビオトープの講義を実施。

○主な効果

身近な自然に興味を持ち、積極的に関わろうとするなど、目指す子ども像に近づきつつある。



エコ改修ツアーで換気スリットを体感



ビオトープを活用した環境教育

長崎県 長崎市立小^こ櫛^{さかき}小学校

●調査概要

- 調査日 平成31年2月20日(水)
- 調査者 (部会委員) 長澤部会長、小泉委員、田中委員、五島特別協力者
(事務局) 松下、島岡

○基礎情報

- 施設概要
RC-3、5,348㎡、建築年 H28年(エコスクール整備年 H28年)
- 学校概要
児童数 593人、学級数 20学級
- エコスクール事業タイプ
再生可能エネルギー利用、省エネ・再利用設備

○主な取組

【施設面(かんがえる・つくる)】

- 環境対策はもとより、環境教育の教材として、また、学校が児童生徒だけでなく地域にわたっての環境・エネルギー教育の発信拠点になり、地域における地球温暖化対策の推進・啓発の先導的な役割を果たす。

【運営面(つかう・つなぐ)】

- エネルギー、環境、リサイクルのグループに分かれて、学習してきたことを他学年へ伝え、環境問題に対する興味関心を繋げる。

【教育面(まなぶ)】

- 市民活動団体の協力により、定期的に、大学教授による太陽光発電パネルや雨水タンクの利用状況に関する講義等を実施。これらをきっかけとし、身の周りの課題を題材とした調べ学習等の環境教育を実施。
- 学年を超えた、環境に関する学習発表会を実施。
- 修学旅行で行く北九州市の公害問題の例を参考にして長崎市の環境問題に目を向け、再生可能エネルギーについて調べる意欲をもつ。

○主な効果

太陽光発電パネルやエネルギーを体感できる実験器具を作成・使用することにより、環境保全の重要性への気付きと、家庭において自分たちができることがないかを考えて実践する児童を育成している。



手回し発電機による実感的な学習



太陽光発電パネルについての講義